

Point 173

705 Ken didn't give me ().

□□□

① many advices

② many piece of advices

③ much advice

④ an advice

〈関西外大〉

706 The senior students helped me move ().

□□□

① a few large furniture

② a few large furnitures

③ some large furniture

④ some large furnitures 〈関西学院大〉

707 The letter was short because there wasn't ().

□□□

① many news

② a few news

③ much news

④ a little news

〈玉川大〉

708 We got () from the teacher.

□□□

① a lot of homeworks

② a lot of information

③ lots of advices

④ a lot of informations

〈上智大〉

709 When I came back from Hawaii, I had such a lot of () that I had to pay extra at the airport.

□□□

① luggages

② luggage

③ my luggages

④ the luggage

〈慶應義塾大〉

705 ケンは、私にあまり助言をししてくれなかった。

706 上級生たちは私がいくつかの大型家具を移動するのを手伝った。

707 あまり知らせることがなかったので、その手紙は短かった。

708 私たちは、その先生からたくさんの情報を得た。

709 ハワイから戻ってきたとき、私はひどくたくさんの荷物を抱えていたので、空港で追加料金を支払わなければならなかった。

Point 173 不可算名詞(数えられない名詞)の用法

日本人には数えられると思われる名詞でも、英語では不可算名詞になっているものが狙われる。不可算名詞には不定冠詞の a(n) はつかないし、複数形もないことが設問の焦点。不可算名詞は【整理81】をすべて記憶しておこう。

705 不可算名詞 **advice** 「忠告」の用法

標準

▶ **advice** 「忠告」は不可算名詞。

▶ 「much + 不可算名詞」が否定文で用いられると「あまり…ない」の意味を表す(▶ 644)。

▶ ② many piece of advices は many pieces of advice なら可。

706 不可算名詞 **furniture** 「家具」の用法

標準

▶ **furniture** 「家具」は不可算名詞。

▶ ① a few large furniture は不可。few は複数形の可算名詞につける(▶ 643)。

707 不可算名詞 **news** 「知らせ」の用法

標準

▶ **news** 「知らせ」は不可算名詞。

▶ ④ a little news は不可。「a little + 不可算名詞」[少しの…](▶ p.226【整理72】)の形はあるが、否定文では用いない。

▶ **プラス** 「little + 不可算名詞」[ほとんど…ない]は問題 642 参照。

708 不可算名詞 **information** 「情報」の用法

標準

▶ **information** 「情報」、**homework** 「宿題」、**advice** は不可算名詞。

▶ **!!注意** a lot of [lots of] A 「たくさんのA」のAには、複数形の可算名詞だけでなく、本問のように不可算名詞も来ることに注意。

709 不可算名詞 **luggage** [baggage] 「手荷物」の用法

標準

▶ **luggage** [baggage] 「手荷物」は不可算名詞。

整理 81

入試で狙われる不可算名詞

- **advice** 「忠告」(▶ 705)
- **luggage** [baggage] 「手荷物」(▶ 709)
- **furniture** 「家具」(▶ 706)
- **homework** 「宿題」
- **housework** 「家事」
- **information** 「情報」(▶ 708)
- **machinery** 「機械」(machine は可算名詞)
- **news** 「知らせ」(▶ 707)
- **poetry** 「詩」(poem は可算名詞)
- **scenery** 「風景」(scene は可算名詞)
- **damage** 「損害」
- **harm** 「損害」
- **progress** 「進歩」
- **fun** 「楽しみ」
- **traffic** 「交通(量)」
- **weather** 「天候」

* advice から scenery までは a piece of A 「1個のA」、two pieces of A 「2個のA」などの形で数を表すことができる。

Point 174

710 During the summer vacation I made () with many villagers.

- ① a friend ② friend ③ the friend ④ friends <中央大>

711 長い道のりだから、交代で運転しなさい。

- Take () driving because you have a long way to go. <西南学院大>

Point 175

712 She took () to get it absolutely perfect.

- ① pains ② wounds ③ sweat ④ tears <拓殖大>

713 Don't forget to give my best () to your parents.

- ① regards ② regard ③ reward ④ hello <明星大>

714 She didn't want to help John. She had not been on good () with him.

- ① friends ② opinions ③ relations ④ terms <大阪大谷大>

715 私はブラウンさんと親しい間柄である。

- (with / terms / I / Mr. Brown / friendly / am / on). <桜美林大>

716 He was in high () in spite of the bad weather.

- ① courage ② heart ③ mind ④ spirits <学習院大>

整理 83

その他の複数形で特別な意味を持つ名詞とその表現

- **arms** 「武器」
- **customs** 「関税／税関」
- **forces** 「軍隊」
- **goods** 「商品」
- **manners** 「礼儀作法」
- **means** 「手段／資産」
- **works** 「工場」
- **put on airs** 「気取る」(airsは「気取り」の意味)
- **a man of letters** 「文学者」(lettersは「文学」の意味)

710 夏休みの間に、私はたくさんの村人たちと友だちになった。

712 彼女は、それをまったく完璧なものにしようと骨を折った。

713 忘れずに、ご両親によろしくお伝えください。

714 彼女はジョンの手助けをしたくはなかった。彼女は、彼と仲のよい間柄ではなかったからだ。

716 悪天候にもかかわらず、彼は元気いっぱいだった。

Point 174 常に複数形を用いる表現

- 710 **make friends with A** 「Aと友だちになる」 標準
 ▶ この表現では **friend** は必ず複数形になる。友だちになるには自分と相手という複数の人間が必要だと考えればわかりやすい。
- 711 **take turns (in / at) doing** 「交代で…する」 発展
 ▶ **turn** は「順番」を表す名詞だが、この表現では複数形で用いる。

整理 82 その他の慣用的に複数形を用いる表現

- **change trains [planes]** 「列車[飛行機]を乗りかえる」
- **exchange business cards** 「名刺を交換する」
- **shake hands** 「握手をする」 など

Point 175 複数形で特別な意味を持つ名詞とその表現

問題712~716を確認した上で、左頁の【整理83】をしっかりと覚えておこう。

- 712 **take pains** 「骨を折る／苦労する」 標準
 ▶ 不可算名詞の **pain** は「苦痛」の意味だが、複数形の **pains** では「苦労」の意味になる。**take pains** 「骨を折る」でイディオムとして押さえる。
- 713 **give my (best) regards to A** 「Aによろしく伝える」 標準
 ▶ **regards** は「よろしくというあいさつ」の意味。**give A my (best) regards** とも表現する。
 +プラス 同意表現の **remember me to A**, **say hello to A** も頻出(→1257)。
- 714 **be on ... terms with A** 「Aとは…の間柄である」 標準
 ▶ **term** の複数形 **terms** は、ここでは「間柄」の意味。
 +プラス **good** 以外にも **bad**, **friendly**, **speaking**, **visiting** などが用いられる。
 I am on *speaking* terms with Jane. (ジェーンとは話をする程度の仲だ)
- 715 **be on friendly terms with A** 「Aとは親しい間柄である」 標準
- 716 **be in high [good / great] spirits** 「機嫌がよい」 発展
 ▶ この場合の複数形 **spirits** は「気分」の意味。
 +プラス 同意表現の **be in a good mood**, **be in a good humor**, 反意表現の **be in low [bad / poor] spirits**, **be in a bad mood** もここで押さえる。

Point 176

- 717 () is a son or daughter of an uncle or aunt.
 ① A niece ② A nephew ③ A cousin ④ A grandchild (駒澤大)
- 718 Bill is in the () of drinking milk with all his meals.
 ① habit ② custom ③ manner ④ trait (東海大)
- 719 If the sun is too hot, perhaps you would like to sit in the ().
 ① darkness ② shadow ③ shade ④ sunlight (センター試験)
- 720 My tooth is driving me crazy! I have to make an urgent () with the dentist!
 ① promise ② appointment ③ assurance ④ reservation (摂南大)

Point 177

- 721 The new stadium is very big. It has a seating () of about 80,000.
 ① facility ② ability ③ possibility ④ capacity (京都外大)
- 722 “Can you tell me where the Red Cross Hospital is?” “I’m sorry but I’m a () here.”
 ① beginner ② regular ③ local ④ stranger (名城大)
- 723 私は彼女をまったく知らない。
 She is a complete () to (). (福島大)
- 724 I’m afraid I’m not () of a musician.
 ① a lot ② plenty ③ much ④ a number (南山大)

717 いとことは、おじやおばの息子か娘のことです。

718 ビルは、食事のとき、いつも牛乳を飲むことになっている。

719 日差しがあまりに暑ければ、日陰に座りたくなるだろう。

720 歯が痛くておかしくなりそうだ！ すぐにでも歯医者に予約をとらなくてはならない！

721 その新しい競技場は非常に大きい。約80,000の座席がある。

722 「赤十字病院がどこにあるか教えてくださいませんか」「ごめんなさい、このあたりは不案内なのです」

724 私は、自分をたいした音楽家ではないと思っています。

Point 176 意味が紛らわしい名詞

- 717 **cousin** 「いとこ」、**niece** 「姪」、**nephew** 「甥」の区別 標準
- 718 **habit** 「個人的な習慣」と**custom** 「社会的習慣」の区別 標準
▶ **be in the habit of doing** 「…することになっている」は重要イディオム。
- 719 **shade** 「日陰」と**shadow** 「影」の区別 標準
- 720 **appointment** 「医者・美容院などの予約」と**reservation** 「列車・ホテルなどの予約」の区別 標準

整理 84

意味が紛らわしい名詞

- **flock** 「鳥や羊の群れ」と**herd** 「牛や馬の群れ」と**school** 「魚の群れ」
- **view** 「(一定の場所で目に入る)眺め」と**scenery** 「風景」
- **shade** 「日陰」と**shadow** 「影」(⇒719)
- **reservation** 「ホテルなどの予約」と**appointment** 「医者などの予約」(⇒720)
- **habit** 「個人的な習慣」と**custom** 「社会的習慣」(⇒718)
- **nephew** 「甥」と**niece** 「姪」と**cousin** 「いとこ」(⇒717)
- **dentist** 「歯科医」と**surgeon** 「外科医」と**physician** 「内科医」
- **sample** 「(商品の)見本」と**example** 「人がまねる手本/見本」
- **rule** 「(競技での)規則/ルール」と**order** 「(社会の)規律/秩序」

Point 177 思いがけない意味を持つ名詞

- 721 **capacity** 「(部屋・建物・乗り物などの)収容能力」 標準
+プラス **capacity** には「(工場などの)生産能力」の意味もあることに注意。
The factory is working below *capacity*. (その工場はフル稼働していない)
- 722 **stranger** 「(場所に)不案内な人」 標準
▶ **I'm a stranger (around) here.** 「このあたりは不案内なのです」は慣用的な表現として押さえる(⇒1310)。
+プラス **stranger** には「見知らぬ人」の意味があることにも注意。
- 723 **stranger** 「見知らぬ人」 標準
▶ **A is a complete[perfect/total] stranger to B.** 「AはBにとって赤の他人だ」の表現で用いられることが多い。
- 724 **not much of a ...** 「[たいした…ではない]」 発展
▶ **not much of a ...** は慣用的な表現として押さえる。

725 She thought she was hurt, but that wasn't really the case.

- ① the state ② true
③ particular occasion ④ the example <上智大>

726 Somebody broke into () last night.

- ① the secure ② the certain ③ the sure ④ the safe <駒澤大>

727 It's not my () if the party is cancelled.

- ① wrong ② fault ③ sin ④ blame <千葉商大>

728 彼はフランス語とイタリア語とスペイン語に堪能である。

- He has a good (c) of French, Italian and Spanish. <立命館大>

729 (a) I don't understand why you were upset about what he had said.

- (b) I have () () why you were upset about what he had said. <津田塾大>

730 Will you get me () of *Do It Yourself Magazine* when you go out?

- ① a sheet ② a piece ③ a copy ④ a paper <西南学院大>

731 Drop me a () as soon as you get there.

- ① card ② letter ③ line ④ pen <学習院大>

725 彼女はけがをしたと思ったが、実際はそうではなかった。

726 昨夜、誰かが金庫の中に押し入った。

727 パーティーが中止されたとしても、私の責任ではありません。

729 (a) (b) なぜ彼が言ったことにあなたが怒ったのか、私にはわかりません。

730 外出する際、*Do It Yourself Magazine* を1部、買ってきてくれない？

731 そこに着いたらすぐ、一筆お便りください。

- 725 **the case** 「真実／実情」 読解 標準
 ▶ **case** が定冠詞を伴うと「真実／実情」の意味を表すことがある。この **the case** は読解でも重要。
 +プラス **as is (often) the case (with A)** 「(Aには)よくあることだが」(→ 314) といった慣用表現でも用いられる。
- 726 **safe** 「金庫」 標準
 ▶ 一般に **safe** は「安全な」の意味の形容詞として用いられるが、「金庫」の意味を表す名詞でもあることに注意。
- 727 **A's fault** 「Aの責任」 標準
 ▶ **fault** には、通例 **A's fault** の形で「Aの責任／Aのせい」の意味を表す用法がある。
 ▶ ③ **sin** は「宗教上、道徳上の罪／罪悪」の意味を表し、ここでは不可。
 +プラス ④ **blame** にも「失敗などの責任」の意味があるが、**blame** の前には所有格の名詞がつかない。**blame** の場合、動詞として用いて **be to blame for A** 「Aに対して責任がある」の表現になる。たとえば、It is my fault. は I'm to blame for it. と書きかえられる。
- 728 **have a good command of A** 「Aを自在にあやつれる」 標準
 ▶ 名詞の **command** には「(言語などを)あやつる能力」の意味を表す用法がある。
 ▶ **have a good command of A** は慣用表現として押さえる。
- 729 **have no idea + wh- 節** 「…がわからない」 標準
 ▶ **idea** には「見当」の意味があり、**have no idea = don't have any idea** で「わからない」の意味になる。
 +プラス **have no idea** は、後に of[about]A を伴って「Aがわからない」の意味を、また本問のように、wh- 節や that 節を直接伴って「…がわからない」といった意味を表すことが多い。
 +プラス 同意表現の **don't have the slightest[least/faintest/remotest] idea (of A)** 「(Aのことが)まったくわからない」もここで押さえておこう。have no idea (of A) よりも意味的には強い。
- 730 **copy** 「(同一の書籍や新聞、雑誌の)部、冊／(同一のCDなどの)枚」 標準
 ▶ **copy** には、もちろん「(原本の)複製」「(録音テープなどから)ダビングしたもの」「(絵などの)複製」の意味もある。
- 731 **drop A a line** 「Aに一筆書く」 標準
 ▶ **drop A a line** の形で用いる名詞の **line** は「短い手紙」の意味を表す。

732 What (you / line / in / are)?

〈国士館大〉

□□□

Point 178

733 There is plenty of () for improvement in his work.

□□□

- ① a room ② no room ③ room ④ rooms

〈京都橋大〉

734 Move to the back of the bus and () others.

□□□

- ① vacate seats with ② make room for
-
- ③ take much of ④ give away to

〈東海大〉

735 その新しい機械を置くと、スペースがずいぶんなくなるだろう。

□□□

The (room / of / a / new / will / lot / take up / machine).

〈名城大〉

Point 179

736 Train () haven't increased in three years.

□□□

- ① bills ② fees ③ fares ④ charges

〈松山大〉

737 If both of us join the fitness club at the same time, the entrance

□□□

() will be cheaper.

- ① fare ② fee ③ toll ④ tax

〈東京経大〉

整理 85

その他の思いがけない意味を持つ名詞

(1) **word** 「約束」He is a man of his *word*. (彼は約束を守る人です)

* 通例, one's word の形をとることに注意。a man of his word 「約束を守る人」で押さえる。

(2) **ring** 「電話(をかけること)」= **call**I'll give him a *ring* [call] tomorrow. (明日、彼に電話します)

* give A a ring [call] 「Aに電話をする」で押さえる。

(3) **effect** 「趣旨／意味」I got a letter to the *effect* that he would resign.

(彼が辞職するという趣旨の手紙を受け取った)

* to the effect + that 節 「…という趣旨の[で]」で押さえる。

732 あなたの職業は何ですか。

733 彼の仕事には改善の余地がたくさんある。

734 バスの後ろの方に移動して、他のお客さんのために場所を空けてください。

736 電車の運賃は3年間で上がっていない。

737 私たち2人が同時にフィットネスクラブに入会すれば、入会金が安くなる。

732 **What line are you in?** 「あなたの職業は何ですか」 **発展**

▶ 名詞の **line** には「職業／商売」の意味を表す用法もある。**What line are you in?** の表現で用いられることが多い。

＋プラス 思いがけない意味を持つ名詞として、他にも **subject** 「話題」、**air** 「様子／外見」、**price** 「代価／代償」、**dish** 「料理」、**end** 「目的」、**change** 「つり銭／小銭」、**sense** 「意味」などは頻出なのでここで押さえておきたい。なお、慣用的な表現で用いるものは左頁の【整理85】参照。

Point 178 : 思いがけない意味を持つ不可算名詞 **room** の用法

733 **There is room for A** 「Aの余地がある」 **標準**

▶ 可算名詞の **room** は「部屋」だが、不可算名詞では「余地／場所／空間」の意味を表す。本問のように **there is** 構文で用いることも多い。

＋プラス 反意表現の **There is no room for A** 「Aの余地はない」も重要。

▶ **plenty of** は可算名詞・不可算名詞につけて「たくさんの…」の意味を表す。a lot of と同意だが、「あり余るほどたくさんの…」のニュアンスが含まれる。

734 **make room for A** 「Aに席を譲る／場所を空ける」 **標準**

▶ **room** は「場所」の意味。慣用表現として押さえる。

735 **take up a lot of room** 「たくさんスペースを取る」 **標準**

▶ **take up a lot of room** とまとめる。**room** は「空間」の意味。

Point 179 : 「料金」「客」「仕事」を表すさまざまな名詞

それぞれ【整理86】、【整理87】、【整理88】にまとめているので、使い分けを正確に押さえておこう。

736 **fare** 「乗り物の運賃」 **標準**

737 **fee** 「入会金、料金」 **標準**

整理 86 「料金・お金」を表すさまざまな名詞

- **fare** 「乗り物の運賃」(⇒ 736)
- **fee** 「専門職に対して支払う料金／受験・入場・入会のための料金」(⇒ 737)
- **pay** 「(一般的な)報酬／手当て」
- **charge** 「サービスに対して支払う料金／(電気・ガスなどの)公共料金／使用料」
- **cost** 「経費／費用」
- **tax** 「税金」
- **fine** [penalty] 「罰金」
- **admission** 「入場料」
- **interest** 「利子／利息」
- **rent** 「家賃／賃貸料」
- **commission** 「手数料／歩合」
- **profit** 「利益」
- **check** 「小切手」
- **cash** 「現金」

732 line are you in 733 ③ 734 ② 735 new machine will take up a lot of room
736 ③ 737 ②

738 Being an able lawyer, he has a lot of ().

- ① clients ② customers ③ consultants ④ guests <防衛大学校>

739 You've done a great () raising your kids.

- ① work ② trade ③ career ④ job <西南学院大>

Point 180

740 Sixty-six percent, or approximately () of the customers, are quite satisfied with our product.

- ① two three ② second thirds ③ three seconds ④ two thirds <専修大>

741 Scientists estimate that ① nine-tenth of the energy in a hurricane is released ② to build the clouds ③ that form its ④ familiar shape.

- <名古屋工大>

742 It took () to go to Cambridge from London.

- ① one hour and half ② one and half hours
③ one and a half hour ④ one and a half hours <京都教育大>

738 有能な弁護士なので、彼はたくさんの依頼人を抱えている。

739 あなたは子育てをとともうまくやってきました。

740 66パーセント、つまり約3分の2の顧客が当社の製品にととも満足しています。

741 科学者たちは、ハリケーンのエネルギーの10分の9は、ハリケーンのおなじみの形を形成する雲を作るために放出されると推定している。

742 ロンドンからケンブリッジに行くのに1時間半かかった。

738 **client** 「(弁護士などへの)依頼人」

標準

整理 87

「客」を表すさまざまな名詞

- **audience** 「(劇場などの)観客/聴衆」
- **guest** 「招待された客/ホテルの客」
- **customer** 「お店の客」
- **client** 「(弁護士などへの)依頼人」(→738)
- **passenger** 「乗客」
- **visitor** 「訪問客/来客/見舞客」
- **spectator** 「(スポーツなどの)観客/見物人」
- **patient** 「患者」
- **viewer** 「テレビの視聴者」

739 **do a great[good] job** 「うまくやっただけのける」

標準

▶ **job** 「仕事」は可算名詞。**do a great[good] job** 「うまくやっただけのける」は慣用表現として押さえる。

▶ ① **work** は「仕事」という意味では不可算名詞。

+プラス 可算名詞の **work** は「作品」の意味にもなる。

整理 88

「仕事」を表すさまざまな名詞

- **work** 「仕事」(不可算名詞)
- **job** 「仕事」(可算名詞)(→739)
- **labor[toil]** 「(work よりつらい)骨の折れる仕事」
- **task** 「課された仕事」
- **occupation** 「職業」
- **profession** 「専門職/知的職業」
- **business** 「事業」
- **trade** 「商売」
- **career** 「経歴」

Point 180 :: 分数表現の作り方など

740 **two(-)thirds** 「3分の2」

標準

▶ 分数表現は分子が基数、分母が序数で表され、分子が2以上の場合は分母を複数形にする。

741 **nine(-)tenths** 「10分の9」

標準

▶ 分子がnineで2以上の数字だから、分母の序数はtenthの複数形にしなければならない。

742 **one and a half hours** 「1時間半」= **an hour and a half**

標準

▶ one and a half をひとまとまりとして考える。a half は「2分の1」だから one and a half は「1と2分の1」を表すことになり、修飾される名詞 hour は複数形になる。

+プラス 同意表現の **an hour and a half** も重要。an hour は one hour と同じだから「1時間と2分の1時間」の意味になり、**one and a half hours** と同意となる。どちらの表現も正確に覚えておこう。